

# 2026 年度 新入生 必修科目登録の手引き

## 【重要】2026 年度 新入生学年始日程と必要な手続き

No.	日 程	場所 または 方法	行 事	対象	詳 細
1	3 月 4 日(水)0:00 ～3 月 13 日(金)23:59	Web	LANGX の受験	全員	受験結果をもとに、必修英語科目の履修クラスを決定します。期間内に受験しなかった場合、レベルの合わないクラスでの履修となる可能性があります。 →P.2 を確認のうえ、手続きを行ってください。
2	～3 月 13 日(金)23:59	UCARO	教養外国語希望アンケート回答	全員	教養外国語として希望する言語を第 3 希望まで回答してください。 →P.2 を確認のうえ、手続きを行ってください。
3	3 月 23 日(月)～ ※予定	社会科学部 Web サイト	カリキュラム・科目登録ガイダンス動画の視聴	全員	科目概要、履修上の注意、カリキュラム・卒業要件・登録方法についての説明動画です。動画は社会科学部 Web サイトにて公開します。社会科学部 Web サイトに掲載される『学部要項』、『科目登録の手引き』と併せて必ず視聴してください。
4			教職課程履修およびその他資格取得のためのガイダンス動画の視聴	希望者	社会科学部で取得可能な教員免許およびその他資格取得についての説明動画です。動画は社会科学部 Web サイトにて公開します。上記資格の取得を希望されている方のみ、視聴してください。
5	3 月 27 日(金)～	Web	Waseda ID、Waseda メールアドレス取得開始	全員	1 次登録以降の科目登録は MyWaseda で行います。1 次登録前に必ず Waseda ID、Waseda メールアドレスを取得してください。
6	3 月 31 日(火)	Web	必修科目登録申請結果発表	全員	必修科目など自動登録結果が MyWaseda で確認できます。 『科目登録の手引き』を見ながら確認してください。
7	3 月 31 日(火)9:00 ～4 月 2 日(木)16:00	Web	春学期 1 次科目登録	全員	MyWaseda より科目登録を行います。『科目登録の手引き』の記載事項をよく理解し、登録に臨んでください。4 月 7 日（火）に結果発表があります。 ※入学前に修得した「高校生特別聴講科目」の単位認定を希望する場合は、社会科学部 Web サイトより手続き方法を確認の上、4 月 2 日（木）までに手続きを行ってください。
8	4 月 1 日(水) 10:00～16:00	14 号館 4 階 教室	学生証交付	全員	・学生証は『受験票』と交換で本人にのみ渡します（代理受取は不可）。 <b>必ず受験票を持ってきてください。</b> ※共通テスト利用入試合格者は、共通テストと早稲田大学の受験票の両方が必要です。 ※附属校・系属校からの進学者・入学者は、受験票ではなく「合格通知書」をご持参ください（UCARO からダウンロード可能）。 ・後日、社会科学部事務所（14 号館 3 階）で受け取ることも可能です。 ・学生証を受け取ったら、氏名・写真および裏面シールの住所・氏名等、記載事項をよく確認してください。住所変更希望者は MyWaseda で変更申請をしてください（MyWaseda / ホーム / 個人情報照会・変更 / 学生基本情報変更）。 申請が承認された旨のメールを受信したのち、早稲田ポータルオフィス（7 号館 1 階）に申し出てください。 ※入学後、住所が変わった場合は、MyWaseda で住所変更を行ってください。 ※学生証は、在学期間中を通して同じものを使用します。
9	4 月 2 日(木) 10:30～11:30	早稲田アリーナ	合同入学式	全員	入学式は商学部、人間科学部等と合同で行われます。
10	4 月 3 日(金) 13:00～15:00	14 号館 201 教室	全体オリエンテーション	全員	学部全体でのオリエンテーションです。早稲田大学での学生生活全般について説明があります。
11	4 月 3 日(金)15:00 ～5 月 13 日（水）23:59	Web	学費引落口座登録	全員	Waseda メールに送られる案内に従い、必ず期限内に手続きしてください。
12	4 月 7 日(火)9:00 ～4 月 8 日(水)16:00	Web	春学期 2 次科目登録	希望者	1 次登録で希望科目を登録できなかった学生は登録申請を行ってください。
4 月 11 日(土)		春学期授業開始			
13	4 月 17 日(金)9:00 ～4 月 18 日(土)16:00	Web	春学期 3 次科目登録 (科目取消・区分変更含む)	希望者	1 次・2 次登録で希望科目を登録できなかった学生は登録申請を行ってください。また、1 次・2 次登録で登録決定となった科目の取消・区分変更が可能です。詳しくは『科目登録の手引き』を確認してください。

## (重要) 必修外国語の手続きについて

**以下の 2 点の手続きを、必ず期限内に確実に完了させてください。必修外国語の履修にあたり必要な手続きです。**

※期限内に手続きされないと科目登録ができません。日程に余裕をもって手続きし、期限を厳守してください。

※以下の手続きを経て、対象科目が自動登録されます。

### ● 必修英語

「Academic Writing and Discussion in English (AWADE)」および「Tutorial English」を履修します（詳細は P.6～7 を参照）。履修学期およびクラスはスピーキングテスト「**LANGX**」の結果によって決定します。

#### 必要な手続き① LANGX の受験

**受験期間：3月4日（水）～ 3月13日（金）23：59**

**受験方法：PC を準備し、P.3 記載の「受験案内サイト」にアクセスして受験を完了してください。**

※受験に関してわからないことがあれば、以下よりお問い合わせください。

専用問い合わせフォーム <https://led.w-as.jp/faq.html>

### ● 教養外国語

選択できる言語は、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語（外国学生等に限る）のいずれかです。朝鮮語は社会科学部設置科目ではなく、グローバル・エデュケーション・センター設置科目であるため、履修ルールが他の言語とは異なることに注意が必要です。（詳細は P.8～を参照）

#### 必要な手続き② 教養外国語の希望アンケートへの回答

**申請期間：本手引きを確認後 ～ 3月13日（金）23：59**

**申請方法：以下のページにアクセスし、必要事項を回答してください。**

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=80a-KatXlyNSnXDCFeo37w>

（申請期間外はアクセスできません）



#### 注意事項：

- ✓ 登録を希望する言語を第 3 希望まで選択してください。第 3 希望まで申請しなかった場合や、同じ言語を複数の希望順位で申請した場合は、希望していない言語が登録されることがありますのでご注意ください。
- ✓ 「日本語」は外国学生入試、海外指定校推薦入試、外国人留学生特別選考制度等により入学した学生のみ選択可能です。それ以外の方が「日本語」を希望しても無効となります。
- ✓ 申請期間内であれば回答内容の変更が可能です。その場合は再度上記ページにアクセスし、初めから申請し直してください。申請期間終了後の変更は一切認められません。
- ✓ 春学期・秋学期で同じクラスがセットで登録されます（日本語を除く）。
- ✓ 定員を超える申請のあった言語では抽選が行われます。
- ✓ 【重要】アンケート回答時に入力したメールアドレスに、UCARO での入学手続きにあたって必要なキーワードが届くので、必ず確認してください。

## 社会科学部 新入生向け LANGX

受験期間:2026 年 3 月 4 日(水)00:00～2026 年 3 月 13 日(金)23:59

受験案内サイト: [https://led.w-as.jp/te/test\\_mar.html](https://led.w-as.jp/te/test_mar.html)

LANGX は、双方向的なやりとりの中で即興的に会話を続ける能力を測るためのテストです。音声対話システム技術を活用して、会話 AI エージェントが受験者と自然な会話を行います。会話 AI エージェントは個人の習熟度に合わせて話題を調整することで、受験者の能力を最大限引き出し、スピーキング能力を効果的に測定することが可能です。



図: 会話 AI エージェントとのテストの様子。

### 1 自然な会話

受験者は会話 AI エージェントとインタビューやロールプレイを行います。

実際の人同士のコミュニケーションと同様に、自然な会話を通してスピーキング能力を判定します。

### 2 適応型テスト

インタビューとロールプレイの問題は、会話中に測定される受験者の習熟度に基づき、個人のレベルに合ったものが提示されます。試験時間は受験者の返答によって変動しますが、平均は約 20-30 分です。

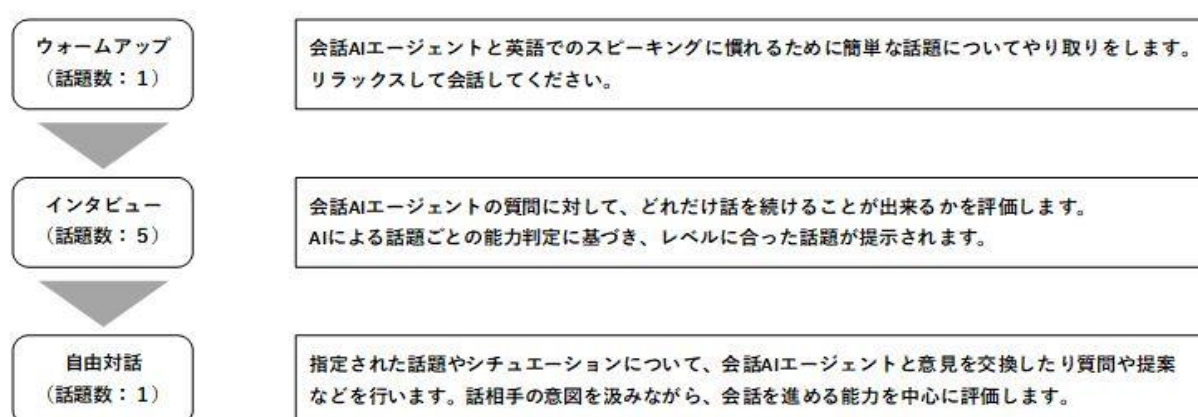
### 3 正確な自動判定

最新の AI による自動採点により、総合評価に加えて6つの観点別評価(語彙の豊富さ・文法の正確さ・発音・流暢さ・一貫性・やりとりの力)についてスコアを短時間で算出します。なお、確信度の低いサンプルは、人間の専門家による再判定を行う場合があります。

### 4 オンライン受験

指定された受験期間内であれば、自分の好きな時に受験をすることが可能です。

## ■テスト内容:



■テスト結果: テスト終了後にサイト上に結果が表示されます。

## ■お問合せ先:

(株) 早稲田大学アカデミックソリューション 語学教育部

専用問い合わせフォーム <https://led.w-as.jp/faq.html>

## 卒業要件

本学部に所定の年限を在学し（通常４年間）、所定の学費等を納め、以下の所定の単位数を修得した者を卒業と認定し、「学士（社会科学）」の学位が与えられます。

本手引きでは、主に１年次の必修科目や自動登録科目（以下の表の枠で囲った部分）について説明します。

その他の科目登録の詳細については、３月上旬以降に社会科学部 Web サイトに掲載される「2026 年度科目登録の手引き（2024 年度以降入学者用）」を参照してください。

<https://www.waseda.jp/fsss/sss/students/registration/>



科目部門		科目分野		所定単位数		
①初年次教育	ラーニング・コミュニティ		1単位		14単位	
	学術的文章の作成		1単位			
	統計リテラシー		2単位			
	必修外国語	②必修英語	AWADE			4単位
			Tutorial English			2単位
	③教養外国語		4単位			
④ミニマムディシプリン科目		社会学分野		26～30単位※1	110単位	
		政治学分野				
		法学分野				
		経済学分野				
		商学分野				
		メタディシプリン				
⑤専門・学際科目		社会科学総合分野		～52単位		
		政治学分野				
		法学分野				
		経済学分野				
		商学分野				
		情報科学分野				
		人文科学分野				
		自然科学分野				
		外国語・地域研究				
		グローバルラーニング				
		社会科学特講				
		社会科学総合研究				
		他コース科目※2				
⑥自コース科目※2		*参考情報を掲載		32単位～		
⑦ゼミナール※3	ゼミナールI		0～2単位			
	ゼミナールII・III		0～8単位			
	課題研究		0～4単位			
卒業必要単位数の合計					124単位	

※1. ミニマムディシプリン科目は、卒業までに「26 単位以上」の修得が必須となり、「30 単位まで」卒業単位数に算入することができます。

※2. 「自コース科目」とは自身が選択したコースの科目であり、「他コース科目」とはその他コースの科目を指します。詳細は P.16 をご確認ください。

※3. ゼミナールの履修は卒業のための要件ではありませんが、希望者が履修し修得した単位は、卒業単位数に算入されます。卒業論文の執筆等を行うゼミナールに所属する場合は「課題研究」の履修も可能で、修得した単位は卒業単位数に算入されます。なお、ゼミナールは同一学期に複数のクラスを履修することはできません。

## 1. 初年次教育

新入生のことを英語では Freshman といいます。初年次教育では新鮮な気持ちで大学での学びに頭を切り替え、自由に主体的に学ぶために理解しておくべき考え方や基本的スキルを学びます。初年次教育は「ラーニング・コミュニティ」、「学術的文章の作成」、「統計リテラシー」から構成されます。

### ラーニング・コミュニティ

「ラーニング・コミュニティ」とは「学習（するための）コミュニティ」です。大学での「学び方を学ぶ」科目です。大学で何を学びたいかは、人によって違います。迷わずに自分独自の学びの気持ちを持続するためには、良き師、良き仲間を見つけること、良い影響をお互いに与えながら共に成長する関係を築くことが重要です。そのための学習戦略をデザインし、自分主体の学びを実践できるようになることを目指します。

### 学術的文章の作成

大学で学ぶ基本は、抽象的で複雑な内容を「考える力」、自分の考えを自分の言葉で伝える「表現力」です。この科目では文章を書く力を身につけます。この授業は、フルオンデマンド方式です。履修者は、自宅やキャンパスの PC から授業を視聴します。毎回、短い文章を書く宿題が課されます。指導員（専門的な訓練を受けた大学院生）がコメントをつけて返送します。それをくり返すことで技能を高め、高度な知的活動の基盤とします。

### 統計リテラシー

「統計リテラシー」は「統計リテラシーα」と「統計リテラシーβ」の2科目で構成されており、どちらもフルオンデマンド方式です。社会科学部では、科学的アプローチにより社会における諸問題の解決を試みます。その際に、統計リテラシーは強力なツールとなります。例えば、AはBの原因であるとする仮説に対し、その妥当性をデータに基づく統計的エビデンス（証拠）により科学的に検証します。

### 初年次教育の履修の仕方

初年次教育では、以下の4科目（各1単位、合計4単位）を履修します。

学年	科目	単位	学期	コマ数/週
1年	<b>ラーニング・コミュニティ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>社会科学部設置科目</li><li>A～Tクラスのどのクラスに登録されるかは自動で決定</li></ul>	1単位	春クォーター	1コマ
1年	<b>学術的文章の作成</b> <ul style="list-style-type: none"><li>グローバル・エデュケーション・センター設置科目</li><li>フルオンデマンド講義</li></ul>	1単位	春クォーター または 夏クォーター	1コマ
1年	<b>統計リテラシーα・β</b> <ul style="list-style-type: none"><li>グローバル・エデュケーション・センター設置科目</li><li>フルオンデマンド講義</li></ul>	α、β 各1単位	α：春クォーター β：夏クォーター	各1コマ

※上記科目はすべて自動登録されますので、ご自身で登録する必要はありません。

※「統計リテラシーα・β」は春・夏クォーターでセット登録されます。

※登録結果は春学期1次科目登録前に MyWaseda の科目登録画面で確認してください。また、「ラーニング・コミュニティ」については、どのクラスが登録されているかを必ずご確認ください。

※上記科目が不合格だった場合は、合格するまで自動登録されます。



## 2. 必修外国語

社会科学部の目的の1つに、幅広い知識に裏づけされたコミュニケーション能力を有し、問題を発見し解決できる学生の育成があります。英語やその他の外国語を学ぶことは世界のさまざまな人とコミュニケーションを取ったり、いろいろな情報源にアクセスしたり、多様な文化や価値観を知る上で不可欠です。そのため、**1 年次において科目部門「必修外国語」に含まれる「必修英語」および「教養外国語」の履修を必須**としています。

### 1) 必修英語

今日の社会では、国際化、グローバル化を避けて通ることはできません。多くの企業・団体が、グローバル化に対応するための語学力を求めています。では、大学ではどの位のレベルを目標に英語を学ばよいのでしょうか。多くの企業で期待される TOEIC のスコアは、600 点といわれています。

750 点あれば、エントリーシートや面接で英語力をアピールすることもできます。もし国際部門を目指すなら、800 点以上を求められると考えてよいでしょう。

留学は、グローバルな環境を体験するためのたいへん良い機会です。

海外の大学に留学し英語による授業を受けるためには、TOEFL や IELTS などの受験によって自らの英語能力を証明する必要があります。プログラムや志望する大学にもよりますが、TOEFL の場合は iBT80 点 (PBT550 点) 以上取得できれば、留学先の選択肢が広がります。IELTS の場合は、バンドスコア 6.5 以上の取得を目指しましょう。

自分の英語力を把握するには資格試験が便利ですが、資格試験そのものを目標にせず、受験する目的を明確に持つことが大切です。その目標を達成するために、最終的に到達したいレベルを考えた上で、まずは現在のレベルより1段階上を目指すことをお勧めします。

言葉はコミュニケーションの手段であるだけでなく、異なる文化や価値観を知るきっかけを与えてくれます。第2言語として英語を使う人が英語話者の約8割を占める時代、英語でコミュニケーションが取れば、さまざまな文化背景を持つ人々と意見を交わすことができます。そして、外国語を学ぶことは、自分の言葉や文化について新たな気づきを与えてくれます。学習目的に沿った資格やスコアの取得も必要ですが、外国語の習得にはそれ以上の魅力があるといえるでしょう。

社会科学部では、1年次の英語履修が必須となっています。

#### 【社会科学部で必修の英語科目とそのクラス編成】

学年	科目	科目
1 年	<b>Academic Writing and Discussion in English (AWADE) α・β</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>週2回受講 (α・β 各2単位、計4単位)</li> <li>LANGX 受験スコアによって、春・夏クォーターまたは秋・冬クォーターに登録</li> </ul>	<b>Tutorial English A・BまたはC・D</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>週2回受講 (1単位、計2単位)</li> <li>LANGX 受験スコアによって、春・夏クォーター (A・B) または秋・冬クォーター (C・D) に登録</li> <li>LANGX 受験スコアによってレベル分け</li> </ul>

- 必修英語は卒業までに、「AWADE」、「Tutorial English」の合計6単位の修得が必要となります。
- 「AWADE」および「Tutorial English」はいずれもグローバル・エデュケーション・センター設置科目です。
- LANGX の結果によって、「AWADE」の登録学期および「Tutorial English」の登録学期・レベルが決まります。
- 登録学期は以下のいずれかの組み合わせとなります。どちらかの学期に「AWADE」と「Tutorial English」が両方登録されることはありません。
  - ① 「AWADE」：春学期 & 「Tutorial English」：秋学期
  - ② 「AWADE」：秋学期 & 「Tutorial English」：春学期
- 修得できなかった科目があった場合、卒業までに修得する必要があります。再履修の方法は以下の通りです。
  - ✓ 「AWADE」については、不合格となった科目 (α/β) の【再履修者用クラス】を次年度以降に履修します。
  - ✓ 「Tutorial English」については、次年度以降に社会科学部設置の「英語1－2 (春学期)・(秋学期)」を必要な単位数分履修します。

※「Tutorial English」を再履修しても必修英語の要件は満たしません。この点ご注意ください。

## Academic Writing and Discussion in English (AWADE)

LANGX 受験スコアによって履修学期が確定し、春・夏クォーターまたは秋・冬クォーターのいずれかに週 2 コマが自動登録されます。

### ① AWADE α

学術的な英語文章を作成するうえで、必要な基礎や文章構成を学ぶことに主眼を置いた授業です。本授業を履修することにより、学術的にふさわしい表現を用いた 500 単語程度の読みやすい文章を作成できるようになります。

### ② AWADE β

リサーチペーパー（所定のテーマについて自身の考えを示し、その考えを支える情報を複数の文献から得て、レポートにまとめたもの）について学びます。本授業では、適切な学術的情報を効率的に探す方法や、得られた学術的情報をどのように自身の考えに反映させるかを学び、最終的には 1,200 単語程度のリサーチペーパーにまとめます。

## Tutorial English

LANGX 受験スコアによって履修学期および履修レベルが確定し、春・夏クォーターまたは秋・冬クォーターのいずれかに週 2 コマが自動登録されます。

### 『4 名 1 組』の徹底した少人数英語教育

Tutorial English はスピーキングを中心とした実践的な英語運用能力の向上を目指す、学生最大 4 名に対してチューター 1 名の少人数授業です。レッスンは教育経験および国際経験が豊富なネイティブスピーカー・日本人が担当し、テキストをもとにペアやグループでレッスンをおこないます。チューターは、グループのレベルや進度に合わせて、適宜アドバイスをを行います。レッスン後には、Tutorial English 専用 Web サイト上で、チューターからの評価やコメントを確認することができます。

### きめ細かなレベル別グループ編成で、無理なく学習

Tutorial English では、LANGX の結果に基づき細かなレベル分け・グループ分けを行いますので、各学生は各自の英語力に適したクラスで受講できます（レベル分けの基準は以下表を参照）。



レベル	レベル目安		授業の到達目標
	TOEFL iBT (スピーキング)	TOEIC S&W (スピーキング)	
Advanced	25 以上	180 以上	見聞きした内容のほとんどを容易に理解し、論理的に整理しながら、些細な言葉のニュアンスの違いを使い分け、非常に流暢かつ正確に伝えることができる。
Upper Intermediate	20-24	160-179	広範で複雑な話題についても内容を正しく理解し、目的に合った適切な言葉を使用し、流暢かつ論理的に自分の考えを述べるができる。
Intermediate	16-19	120-159	抽象的な事柄や複雑な話題にも対応できるような表現力を身につけ、自身の意見を述べる際に、長所と短所を交えて説明することができる。
Basic	15 以下	119 以下	日常生活での身近な事柄について、自身の意見とその理由を簡単に説明し、短いやりとりができる。

### Tutorial English 履修上の注意点

- Tutorial English は 1 クォーターあたり 1 単位の週 2 コマ科目です。必修英語として、計 2 科目（2 単位分）履修します。
- 新入生に自動登録される Tutorial English については入学時の学費に実験実習料が含まれていますので、入学後に改めて納入する必要はありません。
- Tutorial English は、必修として履修する科目に加え、全学オープン科目（「外国語・地域研究」（卒業算入）または自由科目（卒業非算入））としても受講することができます。秋学期に「Tutorial English」が登録された方が春学期に同科目を全学オープン科目として受講する場合には、必ず Basic ～ Upper Intermediate (Advanced 以外) で科目登録をしてください。  
※春学期に最上位レベルで受講してしまうと、秋学期に必修で受講する際のレベルに不具合が生じるため。

## 2) 教養外国語

選択できる言語は、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、日本語（外国学生に限る）のいずれかです。朝鮮語は社会科学部設置科目ではなく、グローバル・エデュケーション・センター設置科目となり、履修上のルールが他の言語とは異なりますので注意してください。

### 【教養外国語科目一覧】

科目名	配当年次	単位数	学期	コマ数/週	科目紹介
ドイツ語 1 基礎／初級	1 年以上	各 1 単位	春学期・秋学期	1 コマ	P.9
ドイツ語 2 基礎／初級					
フランス語 1 基礎／初級	1 年以上	各 1 単位	春学期・秋学期	1 コマ	P.10
フランス語 2 基礎／初級					
中国語 1 基礎／初級	1 年以上	各 1 単位	春学期・秋学期	1 コマ	P.11
中国語 2 基礎／初級					
スペイン語 1 基礎／初級	1 年以上	各 1 単位	春学期・秋学期	1 コマ	P.12
スペイン語 2 基礎／初級					
朝鮮語（入門） / （初級） ※ ※グローバル・エデュケーション・センター設置科目	1 年以上	各 2 単位	春学期・秋学期	2 コマ	P.13

（注）ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語：基礎＝春学期、初級＝秋学期

朝鮮語：入門＝春学期、初級＝秋学期

### 教養外国語の履修について

- 教養外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語から 1 言語を選択し、1 年次に 4 単位履修します。  
※「〇〇語 1 基礎・初級」各 1 単位、「〇〇語 2 基礎・初級」各 1 単位、合計 4 単位
- 1 年次春学期に基礎クラスが不合格となった場合、秋学期の初級クラスは取り消しとなります。2 年次に改めて基礎クラス（春学期）、初級クラス（秋学期）を履修するようにしてください。ただし、朝鮮語は春学期に入門クラスが不合格となった場合でも、秋学期の初級クラスは取り消しとならず、引き続き秋学期も履修します。
- 初級クラス（秋学期）のみ不合格となった場合、2 年次秋学期に再度、初級クラスを履修してください。

### 教養外国語の言語変更について

- 入学時に選択した言語は、在学中一度に限り変更することができます。変更は毎年 3 月に定員枠に空きがある社会科学部設置の教養外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語）に限り受け付けます。
- 変更を行った場合、既に修得した教養外国語科目は「外国語・地域研究」扱いとなり卒業単位に算入されます（上限あり）。

### 外国学生の教養外国語（日本語）履修について

- 外国学生入試制度、海外指定校推薦入試制度、外国人留学生特別選考制度等により入学した学生は、日本語能力のブラッシュアップを目的として、日本語教育研究センター設置の日本語科目を教養外国語として選択することができます。なおこの場合、日本語授業料を別途支払う必要はありません。
- 「日本語」を教養外国語として登録する場合は、日本語教育研究センターが 3 月に実施するレベルチェックテストを受験してください。全ての日本語科目はレベル付けされているため、科目を選択する際に、テストの結果を参考にして、自分に適したレベルの日本語科目を、春学期・秋学期合わせて 4 単位登録してください。  
※テストの案内は、別途入学手続の案内と一緒に配付されています。
- 原則として、母語を教養外国語として選択することはできませんので、ご注意ください。



## ドイツ語 / German

### <ドイツ語への誘い>

本学部教員／千葉 清史

今日、国際化の必要性が叫ばれています。それは、社会科学部の設立理念の一つでもあります。

さて、あなたは国際化、と聞いて、何を思い浮かべますか？ いろいろな文化の人と知り合い、みんなで仲良くすることでしょうか？ そうした牧歌的なイメージは、現実の一面でしかないと思います。私が考える国際化のイメージは、『自分が伝えたいことをしっかりと伝え、納得させることができるようになること』です。一般的に語学が苦手な日本人（私自身もそうでした）にとっては、これはむしろ、日本人よりは相当に自己主張の強い人たちとの国際的コミュニケーションの中で「生き抜く」、ということに等しいでしょう。

国際化は単に求められているだけではなく、私たちが否応なしに巻き込まれている現状です。早稲田大学生のみなさんが期待されている将来を考えれば、なおさらです。そうした現状において、語学は、きわめて有用かつ重要なツールとなります。私自身はドイツ哲学を専門にしていますが、研究のためおよそ 11 年間ドイツで生活し、外国語と格闘してきました。私は、みなさんにドイツ語を教えることを通じて、国際化の現状のなかで生き抜くための心構えと方法を伝えていきたいと思っています。また、単に厳しく困難であるだけではなく、それはとてもやりがいのあることだ、ということも。

幸いなことに、現在ドイツ語の授業は比較的小規模で、1 クラスおよそ 20 名程度です。みなさんに対してきめ細かな指導ができる環境が整っています。留学に興味のある方がいれば、相談に乗ることもできますよ。

ドイツやドイツ文化、ドイツ人に関心のある方、ドイツに行ってみたい・住んでみたいと思っている方、ドイツ語授業へぜひどうぞ。意欲あるみなさんの履修をお待ちしております！

### <本学部教員からの一言>

本学部教員／仲道 祐樹

第 2 外国語で何を勉強しようか悩んでいる？ なるほど。では、「ドイツ語学習の先輩で今も勉強中」という立場から、一言アドバイスを。

外国語の勉強は継続が必要です。でも、これが一番難しい。文法事項と頻出単語・熟語を覚え、興味のわからない文章を読む……自分で書いて辛くなってきます。じゃあなぜ私が今でもドイツ語の勉強を続けられているのかというと、「ドイツ語を使わないとわからない情報」というのがこの世にはあって、その情報に関心を持っているからです。私の場合、刑法学という分野が大好きで、刑法学における最重要の法圏がドイツです。その情報をより早く、より正確に手に入れたいという欲求が、私のドイツ語学習を継続させています。

第 2 外国語を選択する際には、「その言語によって得られる情報への関心」を重視するのがよいと思います。ドイツ語の場合には、サッカー（*Fußball*：日本人選手も多いですね）、ビール（*Bier*：本当に種類が豊富）、哲学（*Philosophie*：カント、ヘーゲル）、音楽（*Musik*：クラシックからテクノまで）が定番ですが、ドイツの靴や玩具への関心がきっかけという人もいます。

皆さんも、自分が好きなものの中で本場を知りたいと思うものを探してみてください。もしかしら、全く考慮に入れてなかったドイツ語がその手助けになるかもしれませんよ。

### <ドイツ語履修学生の声>

- ドイツ語って難しいんじゃない？ と不安に思っているその貴方、分からないところは先生方が優しく教えてくださるので心配ご無用です。文法規則を覚える度に読める文章もどんどん増えていくのがとても楽しいです！
- 世の中の学問にはドイツ語が使われている学問がたくさんあります。医学、哲学などなど。つまり、ドイツ語を学べば世界が一気にひろがるのです！ 難しい？ そんなことありません！ ぜひみなさんもドイツ語の授業で楽しく学びましょう！
- ドイツ語の文法に関して丁寧に教えていただけるほか、ドイツ語会話の非常に実践的な練習を積むことができます。私がベルリンに留学した際は、この授業で学んだ内容だけでスーパーやレストランでの会話を乗り切ることができました。独学でも可能な文法の勉強と違い、会話の練習は一人では難しく、その機会を与えてくれた本講義の時間は大変貴重でした。ドイツ語圏への留学にご興味のある方は、ぜひ受講を検討してみたいはいかがでしょうか。
- 優しい先生方が、優しくドイツ語を教えてください。添削指導や試験準備なども丁寧で、大変役に立つと思います！ 褒められながら、楽しくドイツ語を学びたい方はぜひ履修してください！
- ドイツ語というと、英語と似ていると思っている学生さんが沢山いると思いますが、それだけではありません。ドイツ語特有の文法は最初戸惑いつつも慣れるととても面白いし、発音はローマ字通り読むのがとても簡単です。また、授業では実践的な会話表現も身に付ける事が出来る、これはかなりの美点です。どの言語を学ぼうか悩んでいる学生さんは、是非ドイツ語をお勧めします！

## ＜フランス語が開く世界＞

本学部教員／鈴木 規子

高校生から大学生になると自分で好きな授業を選んで時間割を組むことができるようになります。こうした自由は語学にもあてはまります。皆さんが高校まで勉強してきた英語は必修だったので選択の余地はなかったわけですが、大学では皆さんにとっての第二の外国語を自分の意志で選ぶことができます。社会科学部には中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、朝鮮語の中から勉強してみたい言語を選ぶことができます。中学高校で学んできた英語に加えて、新しい気分でぜひフランス語を選んでみませんか。フランス語といえば、国際的に使われている言語であることは他の先生が説明しているので、ここではなぜフランス語をお勧めするか、私の経験をもとに説明したいと思います。

大学生になったら世界中を旅行したい人は大勢いると思いますが、その時に何が必要でしょうか。まずパスポート、次に必要なのは「旅する国の言葉」ではないでしょうか。私は大学時代、フランス語を勉強してフランスへ留学しました。ヨーロッパは地続きなので列車でどこまでも行けるので、いろいろな国へ行きました。ドーバー海峡の向こうへもユーロスターという高速列車に乗れば海底トンネルを抜けてロンドンまでパリから 2 時間半で到着します。フランスの友人にはユーラシア大陸を列車で横断して何日もかけて韓国まで来て、そこから日本へ来た人もいるくらいです。私も列車で 12 か国を旅しましたが、英語とフランス語が話せれば、ヨーロッパのほとんどの国でだいたいコミュニケーションをとることができるということを実感しました。

フランス語を公用語とする国はフランス、ベルギー、ルクセンブルク、スイス、モナコ、カナダと多いことも魅力です。フランスの旧植民地だったモロッコ、チュニジア、アルジェリアでもフランス語が通じます。フランス語はラテン語の一種なのでスペイン語、ポルトガル語とは、表記も発音も似ているのでだいたい意味がわかります。また、フランスの歴史を見ればわかるように、政治や文化の影響も大きいので国際機関で働く人や知識人の間では今でもフランス語が公用語となっています。そのせいか、イギリス人やアメリカ人の前でフランス語を話すと羨ましがられます。グローバル化が進む時代、英語でコミュニケーションをとることが当たり前になっていますが、それに加えてもう 1 つグローバルな汎用性をもつ言語を話せると、考え方も生き方の幅も大きく広がります。その意味でもフランス語を話せると行動範囲も広がるので、ぜひ皆さんもパスポートとフランス語を身につけていろいろな国を自由に旅してみませんか。

## ＜国際ビジネスの世界とフランス語＞

本学部教員／長谷川 信次

フランスと聞いて皆さんは何をイメージしますか。芸術、ファッション、香水、料理、ワイン、……。あるいは、流れるように、やさしく、美しい響きをもつことばで、愛をささやくセーヌ河岸の恋人たち……。かつて「エコノミックアニマル」と揶揄された日本人にとって、フランスは文化的豊かさの象徴であり、わたしたちとは対極にある存在として映るかもしれません。

意外に思われるかもしれませんが、わたしの専門領域である経済・経営面でも、日本とフランスは強い絆で結ばれています。日本は、上にあげたフランスの製品やサービスの一大輸入国であるのはもちろんのこと、他にも航空機（エアバス）や原子力発電関連品（原子炉保守部品や濃縮ウラン）、半導体、医薬品などの工業製品も多く輸入しています。他方、日本からフランスへは、輸送機械やエレクトロニクス製品、精密機器だけでなく、最近では漫画・アニメや和食といった文化的な商品やサービスが輸出され、大きなブームを巻き起こしています。また貿易に限らず、両国企業が相手国に事業拠点を設け、生産や販売、開発を行う例も増えています。トヨタ自動車は 2001 年に進出したフランス北部の工場で小型乗用車を毎年 30 万台生産し、累計生産台数は 500 万台を突破しています。ルノーは 1999 年、当時経営危機にあった日産自動車を傘下におさめて、日本やアジア地域での事業拡大に乗り出しました（2023 年には、出資関係の見直しにより資本関係の不均衡が解消し、対等なパートナーシップへと移行）。フランスの高級ブランドが銀座や表参道に豪華な店を構えていますが、日本からは MUJI やユニクロ、資生堂がパリに大型店舗を開いたり、商品開発のためのデザインセンターを設立したりしています。楽天は、欧州戦略の一環として、フランスのネット通販大手や大手物流事業者、オンライン広告会社を買収して話題となりました。

国際ビジネスの世界では共通言語としての英語が当たり前の時代となりました。このグローバル化（英語化）の波はフランスにも及んでいます。しかしだからといって、英語だけで十分、とはならないのです。たとえばフランス語ができれば、英語や他の言語圏でも羨望の眼差しで見られます。フランス語がもつ、その明晰な文法構造を通して論理的思考が身につく、コミュニケーションの円滑化と交渉力アップも可能となるでしょう。また、英語以外に 2 ヶ国語程度は自在に操り、さまざまな教養を身につけていることが、尊敬される国際ビジネスパーソンの必須条件です。そしてなにより、ビジネスを超えて人と人との交流を深め、真に生きた文化に触れたいと思うのであれば、その国のローカルな言語を理解することが不可欠です。

フランス語がいかに魅力的か、もうおわかりでしょう。公用語とする国だけで 29 カ国、準公用語扱いまで含めると 50 以上の国／地域に及ぶのですから。

## ＜豊かな国際感覚を求めて -社会科学部の中国語勉強について-＞

本学部教員／劉 傑

「大学に入って、何をしたい」と聞かれると、「外の世界を見たい」と答える新入生が結構多い。受験勉強から解放された後、多くの人が生まれ育ったところ以外の世界に目を向けて、これまで知らなかったことを知りたくなります。これは大変素晴らしいことですが、その実現は幾つかの必須条件があります。語学勉強はその一つです。外の世界を知るには、言葉が通じないと何も始まらないからです。

大学は語学勉強の絶好の場です。多くの大学と同じように、早稲田大学社会科学部は英語ともう一カ国語、つまり二カ国語を平行して勉強するカリキュラムとなっています。これについて、英語ができればもう十分ではないか、なぜわざわざもう一カ国語を、という疑問があるかもしれません。これはやはり豊かな国際感覚を育成するためにあります。習得する外国語が英語だけに限定すると、世界を見る時は英語・日本語という二元的視点になりがちです。それを補い、多元的視点を身に付けるため、第二外国語教育が普及されたのです。

数多くの第二外国語の中、中国語は高い人気を維持してきています。社会科学部でも毎年多くの新入生が中国語を選択、履修しています。これは中国が悠久な歴史もあれば、経済成長にともなう激変もあり、不思議さがありすぎて、もっともっと知りたいと思わせる国と大きく関係します。中国語の勉強が進むほど、言語の壁が低くなり、面白い世界が次第に現れてくるという経験をもつ大学生が多くいます。

社会科学部の中国語教育は、初級、準中級、中級の三つのコースがあります。初級コースを履修する学生は、日本人教員（講読クラス担当）と中国人教員（会話クラス担当）の両方から語学指導を受けます。このような勉強を一年間続けると、学生は「聞く・話す・読む・書く」力をバランスよく身に付けて、語学の基礎を築くことができます。より高いレベルを目指したい学生が初級コースを終えた後、準中級と中級に進むことができます。さらなるレベルアップを希望する学生には、早稲田大学留学センターの留学プログラムと、社会科学部独自の留学プログラムが用意されています。後者は現在、中国武漢大学での短期中国語研修プログラムと国立臺灣大学や国立中山大学での半期または一年間の交換留学（社会科学院）があります。

「中国語は難しいですか」、などの質問がよく届きます。登山と同じように、はじめは大変なところがあります。ガイドさんの指示に従い、地味な努力を重ねていけば、いずれそのうち楽しい旅となります。そして、苦労してやっと頂上に着いた時、その達成感は代えがたいものです。

## ＜本学部教員からの一言＞

本学部教員／陳 璐

中国語は実用性の高いアジアの言語です。日本と地理的・文化的に近いもう一つのアジア言語を学ぶことで、母語とは異なる中国語を話す「新たな自分」を発見してみませんか。社会科学を学ぶ立場から見ると、中国語の習得は単なる語学教育にとどまらず、世界最大規模の社会をその内部の論理から理解するための入口でもあります。中国は一つの国家でありながら、歴史的・文化的、そして現代の地域社会の構成においても非常に多様性に富んでいます。この多様性を理解するためには、中国語という「内側から世界を見るための方法」が必要です。

政策文書、統計データ、メディアの言論、SNSでの議論、さらには地域ごとの慣習や生活感覚——こうしたものはすべて、言語を介して初めて本来の意味を帯びます。翻訳では捉えきれないニュアンスを読み取る力は、社会科学的な分析をより精緻なものへと導くでしょう。皆さんがこれから中国語を通じて、豊かな価値観と多様な社会を「自分自身の目」で見つめ、その知的旅路を広げていくことを期待しています。一緒に学べることを心より楽しみにしています。

## ＜中国語履修学生の声＞

- 中国語は発音がとてもきれいです。授業しながらいやされる！！最高。そして中国語は必ず（断言できます）将来役に立つのでみなさん先取りしましょう。尽力而为！！
- 中国語は、英語と違って、皆、一から始めます。最初は発音などの基礎中の基礎からやるので授業についていけないことはありません。予習、復習をすると授業が更に楽しくなります。私は中国語を履修して本当に良かったと思います。
- 担当教員も中国人&中国人並な日本人なので、発音がきれいに身につきます！興味はあるけど単位重視だからちょっと…という人！心配はいりません！！出席重視！中国語オフィスアワーでは気軽に発音指導や補習も受けられるし、会話練習や検定試験対策もできるので私もよく利用します。
- 中国語を一年間学んだあと、YouTubeの動画画面に書かれた中国語の意味が分かるようになってとても嬉しかったです！それで、2年生になっても中国語を続けて履修することにしました。中国語の映画を見たり、歌をきいた時に、なんとなく聞き取れるようになって、勉強の効果がこんなに早いことに驚いています！
- 夏休みに北京に行った時にはまだ半年しか勉強していないのに、と不安でした。でも現地で聞き取れる単語があるたびに嬉しくなって、中国語を学ぶ意欲がもっと湧いてきました。中国語は大変だけど面白いですよ。
- 語学は真摯に根気強く積極的に挑戦し次のステップへ進んでいくことも必要だと思います。大学でやるだけでは身に付かないなどと、はじめから斜に構えてると大損しますよ！
- 私が中国語を選んだ理由は、アジアのなかで生きていくにはこの言語だと思ったからです。日中関係はまだまだ様々な問題を抱えていますが、やはりそれらの解決の糸口になるのは、自分たちかもしれません。そのため私は中国語を頑張ります！

## ＜スペイン語から開ける世界＞

本学部教員／寺尾 隆吉

スペイン語圏の特色は統一性と多様性の結合にあります。主にヨーロッパとアメリカ大陸にまたがって、世界二十カ国以上、五億人近い話者が、スペイン語という共通項を絆に、同じ一つの枠内に繋ぎ止められていながらも、その内側に多くの民族、言語、文化が共存しています。英語や中国語と比べ、スペイン語は方言差の幅が小さく、様々な地域の人が集まっても意思疎通に問題はありますが、時に意外な違いに驚かされることがあります。例えば、「トルティーヤ」という言葉は、スペインならオムレツですが、メキシコではタコスの皮を意味し、「ティント」は、スペインなら赤ワインですが、コロンビアならコーヒーです。スペインから中南米へ渡ってみると、スペイン語はそのまま通じるのに、人種も景観もまるで違う世界が広がっていて、不思議な感覚に囚われます。フラメンコ、ガウディ、ピカソ、『ドン・キホーテ』、イベリコ豚など、スペインの文化や習慣は近年日本でもよく知られていますが、メキシコ、コロンビア、アルゼンチン、ペルーなどの文化や生活となれば、その実像はピンとこないという人が大半ではないでしょうか。ボテロ、ガルシア・マルケス、マリアッチ、セビーチェと言われて、すぐにわかる方がどのくらいいるでしょう？スペイン語は、そうした未知の豊かな文化圏へ我々を導いてくれる扉です。

「でも、今から新しい外国語を勉強しても喋れるようにはならないし…」と思う方もいるかもしれませんが、実はスペイン語は大学から始めても「喋れる」ようになる可能性の高い言語です。語順は英語より自由、発音はほぼローマ字読み、英語は苦手だったのにスペイン語にはすんなり入れたということもよくあります。

2024 年度から社会学は第二外国語のカリキュラムを一新し、スペイン語では、メキシコとアルゼンチンからネイティブスピーカーの教員を迎えて、充実の授業を提供しています。大学入学を機にスペイン語の扉を開き、新たな世界へ一歩踏み出してみたい方はいかがでしょう。

## ＜本学部教員からの一言＞

本学部教員／吉田 和夫

社会科学部では、法学入門、民法、法情報学などを担当しています。学部学生の頃は、第二外国語としてスペイン語を選択していたのですが、昔も今も法律科目の担当教員でスペイン語を選択していた人は非常に少ないと思います。もともと日本法は、ドイツ法やフランス法の影響を強く受けています。法学部でスペイン語を勉強しようという人間は極めて少数でしたが、当初は大学院に進学することも、教員として大学に残ることも全く想定していなかったため、第二外国語の選択肢の一つであったスペイン語を選びました。理由は、それ以前から興味の対象だったギターでした。今でこそ、外国の楽譜店に日本製の楽譜や音源が当たり前のように並べられていますが、当時は外国の情報が一方的に日本に入ってくるばかりで、英語のものさえ非常に少なく、輸入盤レコードや楽譜、関連書籍はスペイン語のものがほとんどでした。それらを読んでみたい、できればスペインへ行ってみたいというのが選択の動機でした。

さまざまな文化や世界観に接するきっかけとして、スペイン語は非常に有用な言語だと思います。

## ＜スペイン語履修学生の声＞

- 私は高校時代にボリビアに留学したことがあって、少しスペイン語ができたので、迷わずスペイン語を選びました。大正解だったと今でも思います。少人数の授業で先生との距離も近く、しっかりスペイン語を学ぶことができたおかげで、グラナダでの留学期間も有意義に過ごすことができました。スペイン語は今後の人生に大きな財産になると思います。
- 大学に入学して教養外国語を選択する際に、日本語と発音が似ていて学びやすいという単純な理由からスペイン語を選択しました。そして2年生の春にマドリードに短期留学しました。私のことを「アミーゴ」と呼んでくれる、初対面の見知らぬ陽気なスペイン人たちとバルで美味しい料理を食べながら、拙いスペイン語で心を通わせることの楽しさを知りました。それは自分の価値観が広がる確かな瞬間であり、それを機にもっとスペイン語を勉強したいという気持ちが強まりました。スペイン語は南米諸国でも話されているので、今度はもっと視野を広げたいと思います。
- 私はスペイン語を履修したのがきっかけで寺尾隆吉先生のゼミを選択し、おかげでアメリカ大陸の豊かな食文化と出会いました。調べていくうちにいろいろな面白いことがわかり、今ではメキシコ料理をテーマに卒業論文を書こうと考えています。私自身、正直、まだ語学には苦手意識があり、まだまだ勉強不足なのですが、それでもスペイン語の知識が役に立つ場面は多く、本当に面白い言葉だと思います。語学の苦手な方にもおススメです。

朝鮮語を学習したい学生のために、グローバル・エデュケーション・センター（GEC）が提供している朝鮮語のクラスを社会科学部の教養外国語として、卒業単位数に算入して受講できます。

### 以下の注意事項を確認してください。

1. 朝鮮語については、授業の運営を GEC に依頼しています。  
授業開始日、教科書、教材、教室については GEC 発行の『全学オープン科目履修ガイド』で必ず確認してください。  
また、休講等伝達事項は GEC の Web サイト (<https://www.waseda.jp/inst/gec/>) に掲載されます。
2. 講義内容については、[早稲田大学 Web シラバス](#)\* で確認してください。  
\* 早稲田大学 Web サイトトップページ→（右上）データ集→シラバス検索
3. 朝鮮語は「入門（春学期）」および「初級（秋学期）」が登録されます。授業は週 2 回実施されます。
4. 更に上のレベルの授業の受講を希望する場合は、GEC 設置科目の中級、上級レベルを「外国語・地域研究」として履修してください。在学中 16 単位まで算入可能です。

## <朝鮮語を学んでみませんか>

### 朝鮮語とは？

朝鮮語は、朝鮮半島、つまり韓国（大韓民国）と北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）で使用されている言葉です。他国への移民を含めた使用者数は約 7,500 万人で、世界第 15 位の地位を占めます。韓国では「한국어(ハングゴ・韓国語)」、北朝鮮では「조선어(チョソノ・朝鮮語)」と呼ばれています。

朝鮮語で使われる文字は、「한글(ハングル)」と呼ばれます。朝鮮王朝時代の 15 世紀半ばに作られたハングルは、文字を作った人がわかっているという点で世界の言語からみて珍しく、合理的な制字原理が特徴的です。子音と母音のパーツを組み合わせる 1 文字を構成するハングルは、最初は覚えるのが少し大変かも知れませんが、しかし、朝鮮語は、語順や助詞の使い方が日本語に類似しており、また単語の多くを占める漢字語の発音が日本語と似ているため、日本語話者にとって学びやすい言語でもあります。

### 朝鮮語のカリキュラム

グローバル・エデュケーション・センターでは、さまざまなレベルの朝鮮語の授業（入門／初級／準中級／中級／中上級／上級）を提供しており、授業では、話せる朝鮮語、使える朝鮮語を目指して、会話や応用練習を積極的に行います。「入門／初級」クラスを「教養外国語」として履修したのち、2 年目以降は「準中級」、「中級」、「現代韓国を理解する朝鮮語読解／会話（中上級）」、「上級」へと進み、レベルアップを図りましょう。韓国の協定校で行われる短期・長期の語学研修プログラムもお勧めです。また、毎年 12 月には、早稲田で朝鮮語を学ぶすべての学生を対象とした「朝鮮語スピーチコンテスト」が行われます。日頃身につけた朝鮮語能力を先生とのマンツーマン指導でさらに磨き、成果を披露するチャンスです。ぜひ挑戦してみてください！



### 朝鮮語を学んで「韓流」のその先へ

朝鮮語を学ぶことは、朝鮮半島の歴史や社会、文化を理解することと切り離せない関係にあります。朝鮮語を学ぶ皆さんは、ハングルという文字に接するその瞬間から、すでに朝鮮半島の文化を理解するための大きい一歩を踏み出したと言えるでしょう。早稲田には朝鮮語の授業だけではなく、朝鮮半島に関連した多くの講義・演習科目が開設されています。そのような授業と並行して朝鮮語を学びながら、韓流に留まらず、その先の世界へと視野を広げ、さらに関心を深めてみましょう。



### 3. ミニマムディシプリン科目

ミニマムディシプリンとは、社会科学の伝統的学問分野において体系的な学びが推奨される最低限の科目群を指します。これにより、各分野の基礎的学力を養うものです。

このうち、メタディシプリンとは、学際的科目群であり、多様な学問分野の対話・越境・融合、さらに社会実践を通じた高度化の基礎的理解力を養うものです。

ミニマムディシプリン科目は、主に1・2年次に履修する科目群であり、最低26単位の修得が必要です。詳細は3月上旬以降に学部Webページに掲載される「科目登録の手引き」をご確認ください。

#### ■入門科目の自動登録について

1年次の春学期に**5つの入門科目（社会学入門、政治学入門、経済学入門1〔ミクロ経済学〕、経営学入門、法学入門）が自動登録されます。**これらの単位の修得は卒業必須要件ではありませんが、社会科学部における科目履修の基礎となる重要な科目であり、修得した単位は「ミニマムディシプリン科目」の卒業算入単位となります。なお、科目取消はできません。

各科目の詳細はWebシラバスで確認することができます。

### 4. コース科目（参考）

コースは、他学部における専攻や専修にあたるものであり、自身の関心分野を定めて高度な学際探究力を育むことを目的とします。5つのコースから自身の興味関心に沿う1つを選択し、2年次秋学期（在学4学期目）から履修が始まります。卒業必須要件であり、32単位以上の修得が必要です。

#### ■コースの種類

・ 平和・国際協力 / 多文化社会・共生 / サステナビリティ / コミュニティ・社会デザイン / 組織・社会イノベーション

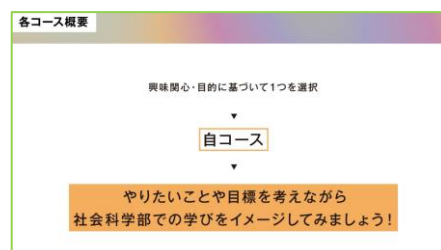
#### ■各コースの特徴やコース選択にかかる手続きについて

科目履修が始まるのは2年次秋学期ですが、1年次のうちからコース科目に関する内容を理解し、どのコースを選択したいか検討を始めておくことをおすすめします。参照すべき情報は以下のとおりです。

##### ① コース紹介動画

各コースの概要、到達目標、また卒業後の進路として想定される業種や分野について紹介しているほか、教員のインタビューも掲載しています。それぞれのコースで学べる内容をイメージし、ご自身の興味関心に近いものを選ぶための参考として活用してください。

↓以下より視聴可能です↓



##### ② 「2026年度 科目登録の手引き（2024年度以降入学者用）」

各コースの指定科目、コース選択の手続きや履修の流れを確認することができます。

3月上旬以降に社会科学部Webサイトの科目登録ページから参照可能です。

※実際にコース科目を履修できるのは2年次秋学期からです。

## 【参考】1年次の履修例

手引きの最後では、実際にどのような科目を履修し、それがどのような時間割となるのか、一例を紹介します。科目履修計画を立てる上での参考にしてください。

### 科目履修（例）

※ 「AWADE」・「Tutorial English」は、春学期か秋学期のどちらかにそれぞれ登録されます。

※ 教養外国語の選択を「中国語」にしています。

学年	学期	科目履修（例）	単位数	アドバイス
1年生 (40単位)	春学期 (20単位)	初年次教育	1単位 1単位 1単位 1単位	★卒業に必要な単位数は124単位です。計画的に履修しましょう。 (詳細はP.5を参照してください) ★必修外国語は1年次に履修を完了しましょう！ ★ミニマムディシプリン科目の5つの入門科目（社会学入門～法学入門）は自動登録されます。社会科学部カリキュラムの基礎となる科目です。
		必修外国語	2単位 1単位 1単位	
		ミニマムディシプリン科目	2単位 2単位 2単位 2単位 2単位 2単位	
	秋学期 (20単位)	必修外国語	2単位 2単位 1単位 1単位	★社会科学部以外の科目を履修することも可能です。履修ルールや卒業算入可否を登録前に確認しましょう！
		ミニマムディシプリン科目	2単位 2単位 4単位 2単位	
		他箇所科目	2単位 2単位	

### 時間割（例）

上記の科目履修を時間割にすると以下ようになります。なお曜日・時限はあくまで一例です。今年度の情報は「科目登録の手引き」の学科目配当表を確認してください。

【春学期】20単位

※「学術的文章の作成」「統計リテラシーα・β」「法学入門」「政治学入門」はフルオンデマンド科目として、時間割には反映していません。

	月	火	水	木	金	土
1時限	中国語2基礎	社会学入門				
2時限	経済学入門1 〔ミクロ経済学〕	憲法I		経営学入門		英語1-2 (Tutorial English)
3時限			中国語1基礎			
4時限					ラーニング・コミュニティ	
5時限			英語1-2 (Tutorial English)			

【秋学期】20単位

	月	火	水	木	金	土
1時限	社会科学のための基礎コンピュータ	社会統計の読み方			中国語2初級	
2時限	社会科学のための基礎コンピュータ		社会学原論1 〔歴史と理論〕		他学部提供科目	
3時限	AWADE α		中国語1初級	AWADE β		
4時限		GEC 設置科目				
5時限		哲学総論				

※ 初年次教育 ミニマムディシプリン科目 必修英語/教養外国語 その他 選択科目

早稲田大学 社会科学部  
School of Social Sciences, Waseda University

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

TEL : 03-3204-8952

FAX : 03-3204-8962

EMAIL : [socsaca@list.waseda.jp](mailto:socsaca@list.waseda.jp)



Web サイト : <https://www.waseda.jp/fsss/sss/>

2026 年 1 月発行

※最新の情報は Web サイトをご確認ください。